

「シンプルに、美しく、長く愛される写真」

Chainon YAZAWA 木下 明日香さん



幸手市出身。
元ウェディングプランナー。子育てとの両立に悩む中、ご主人の「写真が好きなら、仕事にしてみたら？」の言葉をきっかけに、写真家の道を目指す。
専門は、自身の出産・子育ての経験を生かした「モノクロマタニティフォト／ニューボーンフォト」。
屋号の「Chainon(シェノン)」はフランス語で「幸せの連鎖」という意味がある。
ウェディングプランナーとして結婚式のお手伝いをしたご家族に、いつかまた巡り会いたいという思いで名付けた。
YAZAWA(矢澤)は旧姓。

活動を始めると苦労したことが
活動を知ってもらおうことが本当に大変で、市内の産婦人科ワイズレディスクリニックさんにチラシを置いてもらい、徐々にモニター撮影をする、ということ了近隣の方々に知っていたただくことから始めました。たくさんの方にご協力いただいたことで、私の道が広がりました。
産前産後のお母さんたちに寄り添う上で心掛けていること
赤ちゃんが生まれ、大人と話す機会が減ることが女性にとってすごくストレスだと思うので、不安なことなどとにかく何でも話してもらっています。カフェを



大切なこと
「シンプルに、美しく、長く愛される写真」をコンセプトに活動しています。過度な装飾は一切なくても、妊婦さんや赤ちゃんの愛おしい姿を撮れるという自信があります。時代の流行り廃りを写さない、長く飾り続けてもらえる写真を撮りたいです。
今後の展望や夢
このテイストの写真は、年齢問わずに好んでもらえる写真だと思っているので、こんなテイストの写真があることをもっと多くの人に知ってもらい、ご自身の特別で大切な思い出を自宅に飾ってもらいたいです。
将来的に、いつかニューボーンフォトとマタニティフォト専門のスタジオを作りたいです。
市民のみなさんにメッセージを
写真を撮って飾ることを、もっと身近に感じてほしいです！

▼作品展示のお知らせ

11月5日(火)から、幸手駅東西自由通路改札口ギャラリーにて、Chainon YAZAWA 木下さんの作品を展示します。
幸手駅をご利用の際は、ぜひご覧ください！

大切にしていますか？家族の時間

— 11月第3日曜日は「家族の日」 —

こどもや家庭を社会全体で支える大切さなどについて理解を深めてもらうため、内閣府にて11月第3日曜日(今年は11月17日)を「家族の日」、その前後各1週間を「家族の週間」と定め、この期間を中心として広報啓発を図っています。

▼本紙表紙にも登場していただいた入澤さん(市内ホテルグリーンコア勤務)ご家族。撮影中も和気あいあい、笑いが絶えない撮影となりました。
そんな入澤さんご家族に、家族円満の秘訣をお聞きしました！



会話をたくさんしています。
けんかをすることもありますが、家族でいろいろなことを話します。
お出掛けは一緒にすることが多いです。
上の子2人(成人)もよく家に帰ってきてくれるので、みんなで過ごす時間が何より楽しいです！

奥さまは、帰宅時間の遅いご主人の帰りを、毎晩待っていてくれるそうです。
お互いを労り、思いやる気持ちこそが、家庭円満の秘訣なのかもしれません。

▼イベントのお知らせ

入澤さんもパネリストとして登場します。ぜひご参加ください！

第5回 一般社団法人全日本ホテル連盟主催 タウンミーティング in 幸手
～地域におけるホテルの役割とは～関係人口と共に描く持続可能な未来

日 時 11月12日(火)午後1時30分～4時30分

場 所 ウェルス幸手 研修室

内 容 基調講演やパネルトーク、幸手市ママラボプロジェクトによるミニマルシェも開催(午前11時から)

申込み 右記QRコードから申込フォームに入力の上、送信

問合せ 本部事務局 ☎ 03(3527)1539

